

Parallels RAS アプリケーション配信 および VDI ソリューション

Parallels® Remote Application Server (RAS) は、オールインワンの仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) ソリューションであり、時間や場所を問わずどのようなデバイスにもアプリケーションや仮想デスクトップを配信できます。



Parallels RAS を選ぶ理由

優れたユーザーエクスペリエンス

Parallels RAS を利用すると、ユーザーは Windows、macOS、Linux、iOS/iPadOS、Android、Chrome OS、および HTML5 ブラウザー向けの Parallels Client を使用して、任意のオペレーティングシステム (OS) からアプリケーションや仮想デスクトップを生産的に操作できます。簡単なマルチタスクや手軽な印刷機能、RemoteFX のフルサポートに加え、超高速ログイン、迅速なファイル検索、アプリケーションのすばやいレスポンスにより、プロセスの合理化と生産性の向上を実現します。

データセキュリティの強化

Parallels RAS を展開すれば、ユーザー、グループ権限、場所、デバイスに基づきアクセスを制限するポリシーが適用されるため、データ損失や悪意のあるアクティビティが発生するリスクが低減されます。さらに Parallels RAS は、FIPS 140-2 暗号化と多要素認証 (MFA) をサポートしています。

展開、管理、保守の容易性

Parallels RAS により、IT のインフラストラクチャの展開と保守が合理化されます。FSLogix プロファイルコンテナの統合、自動化されたイメージ最適化、構成ウィザード、および Microsoft リモートデスクトップセッションホスト (RDSH) や VDI を構成するためのカスタマイズ可能なツールセットが組み込まれた統合型の直感的な管理コンソールを使用することで、IT の作業時間を短縮できます。また、自動プロビジョニングとオートスケーリングも設定なしですぐに利用できます。

IT の俊敏性とビジネスの即応性

Parallels RAS は、さまざまな Windows Server OS 環境 (2008、2008 R2、2012、2012 R2、2016、2019) と仮想化プラットフォーム (VMware ESXi/VCenter、Microsoft Hyper-V、Nutanix Acropolis、Scale Computing HC3、Microsoft Azure) をサポートしているため、組織の IT 部門は、Windows Virtual Desktop との統合をはじめとするビジネス上のニーズにすばやく対処できます。

総所有コスト (TCO) の削減

Parallels RAS は、リソース、ハードウェアの設置面積、間接コストを削減するオールインワンのソリューションです。製品の包括的な機能がすべて 1 つのライセンスモデルに組み込まれており、管理者は無料トレーニングを受講するだけで短時間のうちに使いこなせるようになります。

詳しい情報について、または Parallels 製品の購入については、
+1 (425) 282 6400 (米国外 +356 22 583 800)、
または sales.ras@parallels.com までお問い合わせいただくか、
parallels.com/ras をご覧ください。



優れたユーザーエクスペリエンス

いつでも、どこでも、あらゆるデバイスで

Parallels RAS を使用すれば、PC、Mac、シンククライアント、Linux ワークステーション、Chromebook、iPad、iPhone、Android デバイスなど、実質的にどのようなデバイスや HTML5 ブラウザーからも、仮想デスクトップやアプリケーションにシームレスにアクセスできます。

迅速なファイル検索

ドライブダイレクトを使用すると、ローカルファイルとフォルダーをすばやく取得して列挙できます。低品質なネットワーク上における速度と安定性が標準の RDP と比較して 90% 以上向上します。

汎用的な印刷とスキャン機能

印刷とスキャンの柔軟なリダイレクト機能によって、ユーザーは自身のモバイルデバイスや Web ブラウザーから印刷やスキャンをローカル環境で実行できます。

高速な画面パフォーマンスと GPU

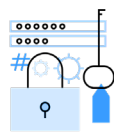
Parallels RAS では、RemoteFX をサポートすることで、ビデオフォーマットやアプリケーションを問わず、円滑、詳細、かつ応答性の高いグラフィック体験が提供され、幅広い USB デバイスの使用も促進されます。

AI ベースのセッション事前起動

Parallels 人工知能エンジン (AI) によって、ユーザーのログイン傾向が分析されてセッションが事前起動されることで、ログイン時間が大幅に短縮され、バックエンドのワークロードも分散されるため、ピーク時間におけるログインの混雑を解消できます。

ホワイトレーベル

HTML5 ブラウザーおよび Windows デバイス向けの Parallels Client には、ホワイトレーベル機能が搭載されているため、組織はブランドの戦略と配色に合わせて、ユーザーインターフェイスの外観および使用感をカスタマイズできます。



データセキュリティの強化

多要素認証

RADIUS、Deepnet、Gemalto (旧 SafeNet)、スマートカード認証、Google 認証、およびその他の時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP) 認証を統合することで、企業資産の高度なデータ保護を実現します。

Security Assertion Markup Language (SAML) シングルサインオン (SSO)

SSO 認証を提供して、異なる組織に属するユーザーの ID 管理を合理化できます。ユーザーはログイン認証情報の再入力を促されることなく、ホストされている Windows や Web、SaaS (Software as a Service) の各アプリケーションを簡単に切り替えることができます。

クライアントポリシー

ユーザーが利用できる設定オプションを管理、制御、および制限するルールを定義することで、データセキュリティを強化できます。

クイックキーパッド

カスタムキーの組み合わせを定義して、よく使用する連続したキー操作を簡素化できます。カスタムキーは、iOS/iPadOS や Android の仮想キーボードにある他のキーと同じように使用できます。

ネイティブな操作性

モバイルデバイスの Windows アプリケーションで、ローカルの作業環境と同じように、スワイプ、ドラッグ、タップしてクリック、ズームなどのネイティブなタッチ操作を使用できます。

マルチタスク

複数のファイルやアプリケーションを開いて簡単に切り替えることができます。Parallels RAS iOS/iPadOS Client で、Slide Over や Split View といった iPad のマルチタスク機能と合わせてアプリケーションを使用できます。

ドラッグ & ドロップ機能の拡張

サーバーからクライアントに、またはその逆にファイルをドラッグ & ドロップできます。公開されているリソース、アプリケーション、およびデスクトップから、ローカルな Windows や macOS® ワークステーションにファイルをドラッグできます。

双方向の音声

IT 管理者は、ローカルデバイスからリモートアプリケーションに音声入力と音声出力をリダイレクトできるようにすることができます。また、サーバーベースのアプリケーションでも、ローカルヘッドセットを使用可能にできます。

Bluetooth のマウスとトラックパッドのサポート

iPadOS 13.4 より、iPad で Bluetooth のマウスまたはトラックパッドを使用できるため、精度が向上します。Parallels Client for iOS ではこの機能をサポートしているため、エンドユーザーの生産性が向上します。

高度なフィルター処理

ユーザー/グループ、IP アドレス、MAC アドレス、デバイスに基づくフィルター処理ルールを定義することで、アクセスを制限して、さらなるデータ保護層を作成できます。

クライアント管理

Windows PC をロックダウンしてキオスクモードの (シンククライアントのような) デバイスに変換することで、エンドユーザーのアクセシビリティを制限できます。

暗号化プロトコル

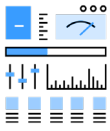
Parallels RAS Secure Client Gateway によって、SSL/TLS および FIPS 140-2 に準拠した暗号化でエンドユーザーの接続が暗号化されます。さらに、データコンプライアンスポリシーへの準拠が確保されます。

モニタリングとレポート作成

サーバーの健全性、アプリケーションの使用率、接続中のデバイス、ユーザー/ユーザーグループのアクティビティに対する有用な情報を提供する詳細なレポートにより、疑わしいアクティビティを特定できます。

SSL 証明書マネージャー

Parallels RAS Console の専用画面から、すべての SSL (Secure Sockets Layer) 証明書を一元的に管理および監視できます。



展開、構成、保守の容易性

Parallels RAS Console と管理ポータル

単一のインターフェイスから利用可能なタスクを実行できます。サーバーの展開、アプリケーションの公開、リソースの監視、デバイスの管理、ヘルプデスクの支援、セキュリティポリシーの定義など、あらゆるタスクを 1 つのコンソールから操作できます。Web ベースの管理ポータルにより可搬性が向上するため、管理者は外出先でも作業を行うことができます。

ウィザードベースの展開

直感的な公開ウィザードを使用して、幅広い種類のアプリケーションやデスクトップを簡単に公開して管理できます。また、VDI および RDSH の構成可能な Parallels RAS テンプレートを自動的に生成してデプロイできます。

FSLogix プロファイルコンテナの統合

推奨される統合ユーザープロファイル管理ソリューションとして、FSLogix プロファイルコンテナの展開、構成、管理を Parallels RAS Console または管理ポータルから一元的かつ簡単に実行できます。

細分化された管理権限

管理者向けのカスタムロールを構成したり、任意の Parallels RAS オブジェクトの管理を委任したりすることができます。

マルチテナントアーキテクチャ

Parallels AS ではマルチテナントがサポートされるため、データの分離を維持して運用コストを抑えながら、異なるテナントで Secure Client Gateway や高可用性ロードバランサー (HALB) などのアクセス層を共有できます。

高可用性ロードバランス (HALB)

特別な設定なしにすぐに使用できるロードバランスが、リソーススペースの分散 (ユーザーセッション、メモリ、および CPU) を使用して、データトラフィックをリモートデスクトップサーバーとゲートウェイに分散させます。AWS Elastic Load Balancer (ELB) や Azure Load Balancer といったサードパーティのロードバランサーもサポートされます。

サーバーコンソールツール

ユーティリティー式を利用すれば、Parallels RAS Console から直接、仮想マシンの特定のタスクやアプリケーションにアクセスして実行できるため、VM の管理が容易になります。

REST API および PowerShell API

REST-API、PowerShell コマンドレット、またはその両方を使用して、複雑で反復的なタスクを自動化できます。また、スケジューリングとワークフローのアプリケーションを Parallels RAS エコシステムに容易に統合できます。

ユーザーエクスペリエンス評価機能と高度なセッションメトリック

ユーザーエクスペリエンス (UX) 評価機能のメトリックとユーザーセッションの詳細に関する完全なビューを組み合わせて使用して、問題をより迅速かつ正確に特定することで、サービス提供を改善できます。

ユーザーセッションの管理

Parallels RAS Console 経由で、RDSH および VDI から任意のユーザーセッションを管理できます。ヘルプデスクは、応答のないプロセスに対処 (プロセスの終了、切断、ログオフ、およびメッセージの送信) することでユーザーをサポートできます。

自動化されたイメージ最適化

RDSH、VDI、または Windows Virtual Desktop ワークロード用の組み込みの自動イメージ最適化機能によって、ユーザーエクスペリエンスが向上し、IT インフラストラクチャのコストが削減され、本番稼働までの所要時間が短縮されます。

自動プロビジョニングとオートスケーリング

VM をオンデマンドで展開または削除してトラフィックの要求に応えることができるように、Parallels RAS テンプレートを構成できます。オンプレミス、ハイブリッドクラウド、パブリッククラウドの展開がサポートされます。

リンクされたクローン

完全な VM を作成する代わりに、リンクされたクローンを利用したり、使用可能な VM を複製したりすることができます。複数の VM で同じソフトウェアのインストールを共有できるため、ストレージ領域が節約され、展開時間が短縮されます。

VM ライフサイクルの動的な管理

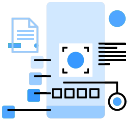
あらかじめ設定されている数のアクティブな仮想マシン (VM) を、そのライフサイクルとともに設定できます。事前に定義された時間が経過した後に、未使用の非永続的な VM を再作成または削除できます。

クライアントの自動構成

自動構成リンクをクリックすれば、公開されているアプリケーションとデスクトップにアクセスできる新規ユーザーを迅速に登録できます。

自動通知とカスタムアクション

PowerShell の通知スクリプトを自動的に実行するように、CPU、メモリ、セッション、接続数などのイベントハンドラーをカスタマイズできます。



IT の柔軟性とビジネスの即応性

RDS と VDI のワンストップソリューション

Parallels RAS を使用すると、組織は Microsoft リモートデスクトップサービス (RDS) と VDI の環境を同じインフラストラクチャで管理できるため、コストと複雑性を低減し

ながら、IT 運用を合理化できます。

リモート PC

リモートワーカーは、ドメインに参加している任意の物理または仮想ワークステーションに安全にアクセスできます。リモート PC からデスクトップとアプリケーションを公開することで、リモートアクセスを容易に実現します。

ハイパーバイザーの独立性

Parallels RAS は、VDI ハイパーバイザーに依存しないソリューションのため、組織は、Microsoft Hyper-V、VMware ESXi、Nutanix Acropolis (AHV)、Scale Computing HC3、Microsoft Azure ハイパーバイザーなどの異なるテクノロジーを組み合わせ使用できます。

RDSH および VDI のローカルストレージ配信

Parallels RAS では、SAN などの一元化された共有ストレージのみを使用するのではなく、複数の独立した Microsoft Hyper-V ホストのローカルディスクにテンプレートからクローンを展開できる機能が提供されます。

マルチクラウド対応

Parallels RAS では、Microsoft Azure、Amazon Web Services (AWS)、Google Cloud などで、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、パブリッククラウドの各展開がサポートされます。

一元化された Windows Virtual Desktop 統合

中央制御されるコンソールからすべての仮想ワークロードとリソースを統合、構成、および一元化することにより、Windows Virtual Desktop の機能を拡張できます。Parallels RAS の展開を Windows Virtual Desktop と統合して、単一のソリューションをエンドユーザーに提供できます。

異なる Windows Server OS 環境

Parallels RAS では、同じファームで異なるバージョンの Windows Server OS を管理できるため、管理者は、Windows Server 2008/R2、2012/R2、2016、および 2019 から同時にアプリケーションとデスクトップを配信できます。



TCO の削減

複雑性の軽減

展開、構成、保守が容易な Parallels RAS を活用することで、組織はスタッフやユーザーの生産性を向上しながら、IT の複雑性を軽減できます。

短時間での習熟

Parallels RAS は使いやすいソリューションです。インフラストラクチャを構成して管理するための知識が最小限ですむため、習熟までの時間が短縮されます。さらに、Parallels RAS の完全なトレーニングが無料で提供されます。

リーズナブルな価格のアドオン

Parallels RAS は、費用対効果が高く、完全な機能を搭載したモジュール方式のアプリケーション配信および VDI ソリューションです。ロードバランス、印刷のリダイレクト、モニタリング、レポート作成などのために、サードパーティのアドオンを追加する必要はありません。

すべてが含まれた単一のライセンスモデル

Parallels RAS の単一のライセンスモデルには、すぐに利用できるあらゆる機能が含まれており、アプリケーションや VDI の配信、ロードバランス、マルチクラウド、24 時間 365 日のお客サポートなど、企業向けの幅広い機能を網羅しています。

同時ユーザーモデル

Parallels RAS では、同時ユーザーライセンスが使用されます。ユーザーは、Parallels RAS に同時アクセスするユーザーの数が利用可能なライセンス数を超えない限り、Parallels RAS に対して任意の数の接続を確立できます。

サービスプロバイダーライセンス契約 (SPLA)

Parallels RAS SPLA モデルは、請求期間におけるピーク時の同時ユーザー数単位でライセンスが提供されます。データは各ファームから毎日自動的に収集され、請求期間の終了時にライセンスコストを算出するために使用されます。

サブライセンス管理

Parallels RAS ではサブライセンスがサポートされるため、一元化された消費情報を保持しながら、独立した複数のキーを管理できます。